

救助隊のページ <雪山搬出訓練の報告>

日時:2018年1月28日(日) 場所:比良山系 イン谷口上部

一般参加者:3名 救助隊員:8名

報告:松本

雪山での要救助者の梱包と搬送の訓練

ツェルトを使用しての要救助者を搬送するための梱包の訓練を実施。今回は低体温症を想定して、加温を実施。プラティパスにお湯入れ湯たんぽ代わりにし要救助者の胸の上に置く。出来れば沸かし直した熱いお湯がよいが、ぬるめのお湯でも梱包された人の感想では、非常に暖かいとの事。



高所からの引きおろしの訓練

要救助者を引き下ろす際に、えん堤などの大きな段差がある障害物を超える方法。通常は“斜張り”と呼ばれるロープを張りますが、今回は2本のロープの末端に要救助者をつなぎ、上部ロープを緩めてその緩んだ分、下部ロープを引っ張るといった簡易方式で引きおろしを実施。メリットはシステムが単純であること。デメリットは下部ロープを引く際の人力がいること。



緊急ビバーク用の一人用の雪洞の作成

スコップで斜面に入口となる横穴をほり、内部は足で雪をけりこんでスペースを広げる。作成時間は10分つぎは、スノーマウントと呼ばれる、一人用よりはやや大型の雪洞作成を行う。雪を掘り下げて、その底にザック等を重ねてツェルトで覆い、さらにその上に雪をかぶせて山にする。山に横穴を開けツェルトとザックを取り出しその取り出した空間を元に内部空間を広げる。



反省点:要救助者を梱包する際にツェルトやテントフライを使用するが、いずれも最近では薄いものが多く、枝や岩角に引っかかると破れやすい。破れることを想定しての梱包対策が必要

所感:従来の梱包・斜張りの訓練のみでなく、緊急ビバーク用の雪洞訓練は、参加者ほとんどが体験したことがなく非常に有意義であった。

第 39 回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

尾根搬出、岩搬出、岩のセルフレスキュー

- 日時 2018年4月1日(日)8:00 受付開始 8:30~15:30 雨天決行、警報発令中止
 - 集合 百丈岩やぐら奥の河原(JR 道場駅より徒歩約 30 分)
 - 場所 百丈岩周辺
 - 内容 吊り上げ吊り降ろし、引き上げ引き下ろしシステム
のロープレスキュー、背負い方法等のレスキューシステムを実践で学ぶ。
 - コース
 - 尾根コース・岩コース(初級者・経験者コース)
 - 岩セルフレスキューコース
※受付にて希望コースを申し出てください。(岩セルフレスキューコースは先着 10 人です)
 - 装備
 - 尾根コース:ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、安全環付カラビナ*、スリング*、デ이지ーチェーン又はパス、確保器、カラビナ等
 - 岩コース・岩セルフレスキューコース
ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、確保器*、安全環付カラビナ*、デ이지ーチェーン又はパス*、カラビナ*、クイックドロウ*、スリング*、アブミ、ハンマー等
※1 *は必須
※2 上記の他、各コースとも一般装備(行動食、水筒、雨具等)必要。
 - 対象者
 - 岩登りの経験があり、搬出技術の向上を目指す方。
 - 「岩セルフレスキューコース」は搬出技術講習会参加経験者で主に岩登りをされる方のみとします。
 - 新特別基金、又は、それに準じる山岳保険加入者。
 - 参加費
資料代 300 円/部をいただきます。
★参加希望の方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡をお願いします。
- <特記事項>
- 雨天決行です。当日の朝の 7 時 30 分時点で警報発令時は中止します。
 - 訓練中の事故等に対しては自己責任での安全確保をお願いいたします。各コースともヘルメットのない方は参加できません。
 - 前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。
 - お車でお越しの方へ
 - 当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。車の場合は、道場駅前駐車場若しくは鎌倉茶屋管理の奥の駐車場(いずれも有料)をご利用下さい。
 - 百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。
 - 道場駅からやぐら前まで路肩駐車禁止とします。
 - 夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

申し込み・問合せ先

大阪勤労者山岳連盟救助隊事務局まで osakaros@gmail

第 39 回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

ハイキングコース

- 日時 2018年4月1日(日)9:30 受付開始 9:50～15:30 雨天決行
- 集合・会場 尼崎市中央地区会館(阪神尼崎駅より西へ5分)
尼崎市西御園町93番地の2 サンシビック尼崎内
TEL:06-6413-8171
- 持ち物 山行時の装備一式
(行動食、水筒、雨具、ストック、三角巾、スリング<120cm・60～100cm>、カラビナ等)
昼食
- 内容 応急手当、搬出技術
- 対象者 ハイキングの山行リーダー及びハイキングでのレスキュー技術の習得を目指す方。
- 資料代 300円/部(昨年度使用した『ハイキングのセルフレスキュー』と同内容のものを予定)

<特記事項>

- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 軽登山靴、または運動靴で参加可能です。
- 参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡をお願いします。各府県連盟は3月12日(月)までに近ブロMLで兵庫県連へ報告をお願いします。
- 車でお越しの方へ
会場には駐車場がありますが他団体含め多数の方が利用されると満車になります。
会場近くのコインパーキングをお探し下さい。

<申し込み・問合せ先>

大阪勤労者山岳連盟救助隊事務局まで osakaros@gmail